2027（令和９）年度

外国人留学生特別選抜
学 生 募 集 要 項



北方キャンパス

公立大学法人
北九州市立大学
THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU

目　　次

A　試験概要

1　実施日程・募集人員 …… 1
2　出願資格、教科・科目に係る個別テスト等 …… 2
3　合否判定基準 …… 3

B　出願

1　出願方法 …… 4
2　出願期間等 …… 5
3　出願書類 …… 6
4　出願上の注意 …… 7
5　受験票について …… 7
6　過去問題の閲覧について …… 7
7　受験及び修学上の配慮について …… 7
8　個別の入学資格審査について …… 7
9　入学検定料の免除について …… 7
10　日本国外から出願する場合等について …… 8

C　試験

1　受験上の注意 …… 8
2　試験会場 …… 9

D　試験後

1　合格発表 …… 9
2　入学手続 …… 9
3　入学金等納入金一覧 …… 10
4　年間授業料 …… 10

E　入試における感染防止対策について …… 11

F　その他

1　教育目的 …… 12
2　アドミッション・ポリシー …… 13
3　ディプロマ・ポリシー …… 16
4　入試情報の成績開示について …… 18
5　個人情報の取扱いについて …… 19
6　個人用ノートパソコンの必携について …… 19

【各種様式】

・履歴書 様式１
・入学希望理由書 様式２

A 試験概要

1　実施日程・募集人員

<table>
<tr><td>出願期間</td><td colspan="6">2027年１月４日(月)～１月８日(金)必着</td></tr>
<tr><td>受験票印刷可能期間</td><td colspan="6">2027年１月18日(月)～３月15日(月)</td></tr>
<tr><td>試験日</td><td colspan="6">2027年２月７日(日)</td></tr>
<tr><td>学部</td><td>学科</td><td>募集人員</td><td colspan="2">集合</td><td>試験科目</td><td>試験時間</td></tr>
<tr><td rowspan="3">外国語学部</td><td>英米学科</td><td>若干名</td><td rowspan="7">北方キャンパス本館</td><td>9:30</td><td>日本語小論文
面接</td><td>10:00～11:30
13:00～</td></tr>
<tr><td>中国学科</td><td>若干名</td><td rowspan="2">12:20</td><td rowspan="2">面接</td><td rowspan="2">13:00～</td></tr>
<tr><td>国際関係学科</td><td>若干名</td></tr>
<tr><td>経済学部</td><td></td><td>若干名</td><td>9:30</td><td>小論文
面接</td><td>10:00～11:30
13:00～</td></tr>
<tr><td rowspan="2">文学部</td><td>比較文化学科</td><td>若干名</td><td rowspan="2">12:20</td><td>集団討論
面接</td><td>13:00～</td></tr>
<tr><td>人間関係学科</td><td>若干名</td><td>集団面接による口頭試問</td><td>13:00～</td></tr>
<tr><td rowspan="2">法学部</td><td>法律学科</td><td>若干名</td><td rowspan="2">9:30</td><td rowspan="2">日本語小論文
面接</td><td rowspan="2">10:00～11:30
13:00～</td></tr>
<tr><td>政策科学科</td><td>若干名</td></tr>
<tr><td>合格発表</td><td colspan="6">2027年２月15日(月)</td></tr>
<tr><td>入学手続期間</td><td colspan="6">2027年３月９日(火)～３月15日(月)
(※海外在住者　2027年２月17日(水)～２月26日(金))</td></tr>
</table>

2　出願資格、教科・科目に係る個別テスト等

大学入学共通テストは課しません。
教科・科目に係る個別テストは、以下「個別テスト」と表記します。

<table>
<tr><th rowspan="2">学　部</th><th rowspan="2">学　科</th><th rowspan="2">募集人員</th><th rowspan="2">出　願　資　格</th><th rowspan="2">選考方法</th><th colspan="6">日　本　留　学　試　験</th><th colspan="3">個別テスト等</th><th rowspan="2">配点合計</th></tr>
<tr><th>利用年度・回数</th><th>文理</th><th>科　目</th><th>出題言語</th><th>配点</th><th>科　目</th><th>時間</th><th>配点</th></tr>
<tr><td rowspan="3">外国語学部</td><td>英米学科</td><td>若干名</td><td rowspan="8">次のいずれかの要件を満たし、かつ日本国籍を有せず、さらに「出入国管理及び難民認定法」において大学入学に支障のない在留資格を有する外国人で、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」において、出願する学部・学科が指定する利用年度・回数の科目を受験した者（文学部人間関係学科は、「日本語」450点満点中270点以上の者）

①外国において学校教育における12年の課程を修了した者又は入学の前年度までに修了見込みの者又はこれに準ずる者として文部科学大臣の指定したもの
②外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
③ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
④フランス共和国において、大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
⑤英国の大学入学資格として認められているGCE-Aレベル資格又は国際Aレベル資格を有する者
⑥欧州連合構成国において大学入学資格として認められている欧州バカロレア資格を有する者
⑦外国人を対象に教育を行うことを目的として我が国において設置された教育施設であって、その教育活動等について文部科学省が定める団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS）の認定を受けたものに置かれる12年の課程を修了した者又は2027年３月までに修了見込みの者
⑧本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者で2027年３月31日までに18歳に達するもの</td><td rowspan="8">日本留学試験の成績、個別テスト等の成績を総合して合格者を決定する。</td><td rowspan="8">「2025年度日本留学試験」の第1回又は第2回、「2026年度日本留学試験」の第1回又は第２回のいずれか</td><td rowspan="8">文

科

系</td><td>日本語
（読解、聴解・聴読解）
総合科目</td><td>英語・日本語</td><td>―
（注１）</td><td>日本語小論文
面接
（TOEFL又はTOEIC(注2)）</td><td>90分
―</td><td>100
30</td><td>130</td></tr>
<tr><td>中国学科</td><td>若干名</td><td>日本語

総合科目</td><td>英語・日本語</td><td>100
（注３）
50</td><td>面接（注４）
（TOEFL又はTOEIC(注2)）</td><td>―</td><td>40</td><td>190</td></tr>
<tr><td>国際関係学科</td><td>若干名</td><td>日本語

総合科目</td><td>英語・日本語</td><td>100
（注３）
100</td><td>面接（注４）
TOEFL又はTOEIC(注５)</td><td>―</td><td>60
60</td><td>320</td></tr>
<tr><td>経済学部</td><td></td><td>若干名</td><td>日本語
（読解、聴解・聴読解）
総合科目
数学</td><td>

日本語
日本語</td><td>40

20
20</td><td>小論文

面接</td><td>90分

―</td><td>100

―
（注６）</td><td>180</td></tr>
<tr><td rowspan="2">文学部</td><td>比較文化学科</td><td>若干名</td><td>日本語</td><td></td><td>―
（注１）</td><td>集団討論
面接
（TOEFL又はTOEIC(注2)）</td><td>―
―</td><td>60
120</td><td>180</td></tr>
<tr><td>人間関係学科</td><td>若干名</td><td>日本語

総合科目</td><td>日本語</td><td>100
（注3）
―
（注７）</td><td>集団面接による口頭試問（注８）</td><td>―</td><td>180</td><td>280</td></tr>
<tr><td rowspan="2">法学部</td><td>法律学科</td><td>若干名</td><td rowspan="2">日本語
（読解、聴解・聴読解）
総合科目
数学（コース１）</td><td rowspan="2">日本語
日本語</td><td rowspan="2">―
（注１）</td><td rowspan="2">日本語小論文
（語学等の辞書持込可
ただし、電子辞書不可）

面接</td><td rowspan="2">90分

―</td><td rowspan="2">100

100</td><td rowspan="2">200</td></tr>
<tr><td>政策科学科</td><td>若干名</td></tr>
</table>

（注１）日本留学試験の成績は面接の際の参考としますので、指定するすべての科目を受験してください。なお、文学部比較文化学科の「日本語」は記述を含みます。
（注２）TOEFL、TOEICの成績は、出願時から遡って２年間の成績を有効とし、面接の際の参考とします。なお、提出すべき成績通知書は、TOEFL「Test Taker Score Report（Test Dateスコア）」、TOEIC「公式認定証」とします。TOEFLはiBT、TOEICはL&Rを対象とします。TOEFL ITP、TOEIC IPでは出願できません。
（注３）日本語の配点は、450点（記述を含む。）を記載の配点に換算します。
（注４）面接に際しては、入学希望理由書も評価の対象とします。
（注５）TOEFL、TOEICの成績は、出願時から遡って２年間の成績を有効とします。提出すべき成績通知書はTOEFL「Test Taker Score Report（Test Dateスコア）」、TOEIC「公式認定証」とします。TOEFLはiBT、TOEICはL&Rを対象とします。TOEFL ITP、TOEIC IPでは出願できません。
（注６）面接はＡＢＣの３段階で評価し、修学上問題があると認められる場合には、個別テスト等の成績に関わらず不合格とします。
（注７）日本留学試験「総合科目」の成績は面接の際の参考としますので、受験してください。
（注８）集団面接による口頭試問は、入学希望理由書の内容に関することと面接者の質問に基づき実施します。

3　合否判定基準

外国語学部英米学科

日本語小論文の成績と面接をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合否を判定します。配点は日本語小論文100点、面接30点です。日本留学試験及びTOEFL又はTOEICの成績は面接の際の参考とします。また、試験の成績によっては合格者がいない場合もあります。

外国語学部中国学科

面接と日本留学試験の成績をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合否を判定します。配点は面接40点、日本留学試験150点（日本語100点、総合科目50点）です。日本留学試験は得点を換算します。TOEFL又はTOEICの成績は面接の際の参考とします。入学希望理由書は面接の評価の対象とします。また、試験の成績によっては合格者がいない場合もあります。

外国語学部国際関係学科

面接とTOEFL又はTOEICの成績、日本留学試験の成績をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合否を判定します。配点は面接60点、TOEFL又はTOEIC60点、日本留学試験200点（日本語100点、総合科目100点）です。日本留学試験、TOEFL又はTOEICは得点を換算します。入学希望理由書は面接の評価の対象とします。また、試験の成績によっては合格者がいない場合もあります。

経済学部

小論文と日本留学試験の成績をそれぞれ点数化し、合計した得点と面接の結果を総合的に判断して合否を判定します。配点は小論文100点、日本留学試験80点（日本語（読解、聴解・聴読解）40点、総合科目20点、数学20点）です。面接は複数の面接委員によりABCの３段階で評価します。小論文で一定基準を満たさない場合又は面接において修学上問題があると認められる場合には、試験の成績にかかわらず不合格とします。日本留学試験は得点を換算します。また、試験の成績によっては合格者がいない場合もあります。

文学部比較文化学科

集団討論と面接をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合否を判定します。配点は集団討論60点、面接120点です。日本留学試験及びTOEFL又はTOEICの成績は面接の際の参考とします。また、試験の成績によっては合格者がいない場合もあります。

文学部人間関係学科

集団面接による口頭試問と日本留学試験（日本語）をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合否を判定します。配点は集団面接による口頭試問180点、日本留学試験100点（日本語100点）です。日本留学試験（日本語）は得点を換算します。日本留学試験（総合科目）の成績は面接の際の参考とします。また、試験の成績によっては合格者がいない場合もあります。

法学部

日本語小論文の成績と面接をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合否を判定します。配点は日本語小論文100点、面接100点です。小論文で一定基準を満たさない場合又は面接において修学上問題があると認められる場合には、試験の成績にかかわらず不合格とします。日本留学試験の成績は面接の際の参考とします。また、試験の成績によっては合格者がいない場合もあります。

Ｂ　出願

１　出願方法

⑴　事前準備

①　インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等の準備

学校や予備校など自宅外のパソコンからも出願できます。インターネット出願ができる環境が整っていない場合は、事前に北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係（093-964-4022）までご相談ください。

②　プリンターの準備

Ａ４サイズの用紙が印刷できるプリンター（モノクロ、カラーは問いません）が必要です。出願確認票や宛名ラベル、受験票等を印刷する際に必要になります。

③　利用可能なメールアドレスの準備

電子メールアドレスが必要になります。スマートフォン・携帯電話のメールアドレスやフリーメールのアドレスも利用可能です。本学から、入学試験に関する重要なお知らせ（出願登録確認・入学検定料支払い確認等）を配信します。

④　入学検定料支払い方法の確認

コンビニエンスストア、クレジットカード、銀行ATM、ネットバンキングでの支払い方法があります。
支払い方法は、「インターネット出願」サイトにアクセスして確認してください。

⑤　必要書類の準備

証明書、顔写真等の出願に必要な書類等は、発行や作成に時間がかかる場合がありますので、早めに準備をしてください。

⑥　角形２号（角２）封筒の準備

出願書類を提出するため、市販の角形2号（角2）（240mm×332mm）封筒を事前に準備してください。

⑵　出願登録

インターネットによる「出願登録」を行います。
出願登録等の手順は、「インターネット出願」サイトにアクセスして確認してください。

⑶　入学検定料の支払い

入学検定料17,000円（別途、サービス利用料900円）をお支払いください。
入学検定料の支払い手順は、「インターネット出願」サイトにアクセスして確認してください。

⑷　出願書類の提出

出願登録、入学検定料支払い後、出願書類の提出をしてください。
出願書類の提出方法は、「２　出願期間等」、「３　出願書類」を確認してください。

■インターネットを利用した出願の流れ



※出願の流れは、各選抜共通の流れです。「⑥出願書類の提出（郵送）」は、提出方法・提出書類の種類が各選抜で異なりますので、それぞれの学生募集要項を必ず確認してください。

2　出願期間等

⑴　出願期間等

出願期間 （出願書類の提出）	**2027年 １月４日(月)から 2027年 １月８日(金)まで （必着）**
出願登録・入学検定料支払期間 （インターネット入力等）	2026年12月21日（月）から 2027年１月８日（金）16:00まで

⑵　出願書類の提出方法

出願書類は次の方法で提出してください。なお、提出は、必ず「出願期間」内としてください。出願期間外（出願登録・入学検定料支払期間内の 12/21～１/３も含む）は受理できませんのでご注意ください。

必ず「速達・簡易書留」で出願期間内に到着するように出願書類を郵送してください（１月８日(金)必着）。ただし、１月７日（木）以前の発信局（日本国内）消印のある「速達・簡易書留」で郵送されたものに限り、１月９日（土）以降に到着した場合でも受理します。

※出願期間最終日の１月８日（金）のみ、9：00 ～ 17：00に下記送付先への持参が可能です。

［送付先］

〒802-8577　北九州市小倉南区北方四丁目２番１号　北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係

3　出願書類

出願登録、入学検定料支払い後、次の書類等を一括して提出してください。出願書類は、必ず下記③宛名ラベルを貼付した角形２号（角２）（240㎜×332㎜）封筒に封入してください。

インターネット出願登録内容の印刷	①出願確認票	インターネット出願登録後、印刷したもの。
	②写真票	インターネット出願登録後、印刷したものに、上半身・脱帽・無背景・正面向きで出願前３ヶ月以内に撮影した縦４㎝×横３㎝サイズの写真の裏面に氏名を記入の上、所定欄に貼付してください。アプリ等で加工・修正するなど、本人確認に適さない写真は使用しないでください。
	③宛名ラベル	インターネット出願登録後、印刷したものを角形2号（角2）封筒に貼付してください。
その他必要書類	④卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書等及び成績証明書等	ア　出願資格①又は⑦に該当する者 ・出身高等学校の卒業（修了）証明書［原本］又は卒業（修了）見込証明書［原本］ ・成績証明書［原本］ ・12 年の課程を修了した教育施設が、文部科学大臣が定める団体の認定を受けていることを当該学校長が証明した書類（出願資格⑦に該当する場合に限る） ※卒業証書（Diploma）の写し（コピー）を提出する場合は、原本から正しく複写されたものであることが、出身学校等によって証明されているものに限ります。 （例）中国における公証処発行の公証書 ※飛級がある場合は、それを証明する学校長発行の書類を添付してください。 イ　出願資格②に該当する者（スイス：国際バカロレア資格） ・資格証書の写し（コピー） ・資格最終試験６科目の成績評価証明書［原本］ ウ　出願資格③に該当する者（ドイツ：アビトゥア資格） ・一般的大学入学資格証明書の写し（コピー） エ　出願資格④、⑥に該当する者（フランス：バカロレア資格、欧州連合構成国：欧州バカロレア資格） ・資格証書の写し（コピー） ・資格試験成績証明書［原本］ オ　出願資格⑤に該当する者（英国：ＧＣＥ−Ａレベル資格、国際Ａレベル資格） ・成績評価証明書の写し（コピー） カ　出願資格⑧に該当する者（個別の入学資格審査） ・入学資格審査結果通知書の写し（コピー） ※　上記証明書等が、日本語以外で記載されている場合は、日本語で翻訳したものを添付してください。
	⑤履歴書 様式１	所定の様式に志願者本人が自筆（日本語）で記入してください。
	⑥入学希望理由書 様式２	所定の様式に志願者本人が自筆（日本語）で記入してください。
	⑦日本留学試験の受験票の写し（コピー）	受験番号、氏名、受験科目（言語）等がはっきりとわかるようにコピーしてください。志望する学部・学科が指定する日本留学試験の試験科目等については、２ページの「出願資格、教科・科目に係る個別テスト等」を必ずご確認ください。 ※日本留学試験を複数回受験した者は、志望する学部・学科が指定する教科の合格点が、最も高い試験の受験票の写し（コピー）を提出してください。 （試験当日は、日本留学試験の受験票［原本］を必ず持参してください。）
	⑧ＴＯＥＦＬ又はＴＯＥＩＣの成績通知書	【外国語学部・文学部比較文化学科のみ】 TOEFL 又は TOEIC の成績通知書の写し（コピー）を必ず提出してください。 ※出願時から遡って２年間のものを有効とします。
	⑨住民票等	居住地の市区町村長発行の、在留資格及び在留期間が記載されている住民票（原本）を提出してください。（出願前１ヶ月以内に発行したもの。） ※日本に居住していない場合は、パスポートの写し（コピー）を提出してください。

※ ⑤･⑥の記入には、黒のボールペンを使用してください。鉛筆で記入した書類は、受理せず返却する場合があります。

※ 出願書類の作成において、ChatGPT などの生成 AI を使用しないでください。

4　出願上の注意

⑴　出願は１学部１学科に限ります。併願は認めません。

⑵　インターネットによる出願情報の登録及び入学検定料の支払いを行っただけでは出願受付完了にはなりません。出願書類を出願期間内に提出（郵送）後、出願受付完了になります。

⑶　入学検定料支払い後は、志望学部・学科等の変更はできません。出願登録内容については、必ず入学検定料支払い前に確認してください。（支払い前であれば、出願者自身で変更できます。）

⑷　出願受付完了後は、いかなる理由があっても出願書類の変更は認められません。

⑸　出願書類に不正の事実があった場合は、入学許可後であっても合格を取り消します。

⑹　出願書類等に不備がある場合には、受理しません。

⑺　出願書類は下記⑻アを除き返却できません。

⑻　一旦納入した入学検定料は、次のいずれかに該当する場合を除き返還はできません。入学検定料の返還を希望する場合は、2027年2月18日（木）までにお問い合わせください。 なお、日本国外からの入金の場合、返還はできませんのでご注意ください。

ア　提出書類の不備等により出願が受理されなかった場合

イ　提出書類を郵送しなかった場合

ウ　入学検定料免除の対象として所定の手続を行った場合（事前申請が間に合わない場合）

エ　誤って二重に入金した場合

⑼　出願後に住所変更を行った場合は、必ず入学試験係へ連絡してください。

5　受験票について

⑴　受験票印刷可能期間　2027年1月18日（月）～2027年3月15日（月）

⑵　受験票は、印刷可能期間中インターネット出願サイトの「申込確認」画面から印刷可能です。A４サイズの用紙に印刷し、二つ折りにしてください。

⑶　試験当日は、印刷した受験票を必ず持参してください。

⑷　受験票には、メモなどを記入しないでください。記入していることを発見した場合は、不正行為とみなす場合があります。

⑸　受験票は、入学手続及び入試情報の成績開示等に必要ですので、大切に保管しておいてください。

6　過去問題の閲覧について

過去の試験問題は、土曜日、日曜日、祝日を除き、北九州市立大学　入試・研究支援課窓口にて閲覧できます。その際、身分証明書（在留カード、学生証等）が必要ですので持参してください。

●閲覧受付時間　平日　9：00～16：00（12：15～13：15を除く）

（2026年度入試から一部の試験問題を本学ホームページにて公表しています。）

7　受験及び修学上の配慮について

障害や疾病などで、受験及び修学上特別な配慮を希望する入学志願者は、その措置を講ずるための審査が必要となりますので、事前に次ページの連絡先へ相談の上、2026年12月11日（金）（必着）までに本学が指定する書類を提出してください。詳細・指定する様式については、本学ホームページでご確認ください。

8　個別の入学資格審査について

本学の入学資格審査を希望する者は、事前に次ページの連絡先へ相談の上、2026年11月30日（月）（必着）までに本学が指定する書類を提出してください。詳細・指定する様式については、本学ホームページでご確認ください。

9　入学検定料の免除について

2027年度入学試験において、令和８年熊本地震で被災された志願者の入学検定料の免除を行います。入学検定料の免除を希望する場合は、出願手続の前に次ページの連絡先へ相談の上、2026年12月11日（金）（必着）までに本学が指定する書類を提出してください。詳細・指定する様式については、本学ホームページでご確認ください。

10　日本国外から出願する場合等について

⑴　日本国外から出願し、受験時のみ日本へ入国する場合、又は、出願・受験時には日本国内にいるが、受験終了後、帰国する場合は、出願する前に下記連絡先へメールでご連絡ください。

⑵　感染症等の影響で、外国人の日本国への入国が制限される可能性があります。出願する前に、日本国「外務省ホームページ（https://www.mofa.go.jp/mofaj/）」を必ずご確認ください。
入国できないこと等により受験できない場合でも、入学検定料の返還はできませんのでご注意ください。

〈連絡先〉北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係
TEL 093-964-4022　E-Mail nyushi2@kitakyu-u.ac.jp
〔ホームページ https://www.kitakyu-u.ac.jp/〕

C　試験

1　受験上の注意

⑴　持参物について

・本学の受験票を必ず持参してください。(受験票は 2027 年 1 月 18 日(月)から印刷可能)
・日本留学試験の受験票（原本）を必ず持参してください。
・身分証明書（生徒証・学生証・マイナンバーカード・パスポート・運転免許証・在留カード等（氏名及び生年月日の記載があり、顔写真付きで、試験当日において有効なもの。））を必ず持参してください。必要に応じて提示を求めたり、本人確認のための質問を行ったりする等の対応をとることがあります。
・筆記用具（鉛筆（シャープペンシル）、消しゴム）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものは不可。）を持参してください。
・試験時間中は、スマートフォン・携帯電話・ウェアラブル端末・タブレット端末等の通信機器を時計として使用することはできません。また、これらの通信機器は、必ず電源を切り、カバンにしまっておいてください。イヤホンを含め身に付けることはできません。そのほか、電卓・そろばん・電子辞書・定規及びこれに類するものの持ち込みも厳禁です。発見した場合は、不正行為となることがあります。

⑵　所持品の取扱いについて

①受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、次のとおりです。

・黒鉛筆、鉛筆キャップ（和歌・格言等が印刷されているものは不可。）
・シャープペンシル、シャープペンシルの芯（ケースは不可。）
・プラスチック製の消しゴム
・手動式の鉛筆削り
・時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものは不可。）
・眼鏡、ハンカチ（英文字や地図等がプリントされているものは不可。）、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの。）

②試験時間中に、次のものを使用してはいけません。

・定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具
・携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ＩＣレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類

⑶　来場について

・公共交通機関をご利用ください。(自家用車の学内乗り入れは固くお断りします。)
・試験当日は、指定された集合時間までに集合場所（試験室、面接控室等）に集合してください。

※遅刻制限について

遅刻は、試験開始後20分までに入室した者に限り認めます。
ただし、面接試験（集団討論・集団面接含む）については遅刻を認めません。

※公共交通機関が遅延した場合

定期に運行している公共交通機関の大幅な遅れにより試験開始時刻に遅刻した場合には、所定の試験時間を確保して試験を行います。その際、当該公共交通機関を利用したことの証明のため、乗車時刻・到着時刻等をあらかじめ記録し申告してください。(自家用車の利用による遅延は、この対象となりません。)

⑷　昼食について

昼食は各自で持参してください。(面接試験（集団討論・集団面接含む）のみの受験者は昼食不要です。)

⑸　面接試験（集団討論・集団面接含む）の待ち時間について

受験者数によって面接試験の順番が来るまで時間を要する場合がありますので、読書や勉強などで時間を費やすことができるよう準備をお願いします。

①　スマートフォン・携帯電話、ゲーム、電子辞書などの電子機器類の使用及び受験者同士の会話は禁止します。

②　監督者等の注意・指示に従わない者は失格となる場合があります。

⑹　不正行為について

カンニングなどの不正行為を行った場合には失格とします。また、試験中に試験監督者の指示に従わなかった場合は、その試験を０点とする場合があります。必要に応じて追加的な確認を行ったり、警察に被害届を提出したりする場合があります。

２　試験会場

⑴　試験会場　　北九州市立大学北方キャンパス本館：北九州市小倉南区北方四丁目２番１号
（裏表紙の案内図参照）

⑵　主要交通機関　北九州モノレール利用
ＪＲ「小倉」駅(乗り換え)⇒モノレール「小倉」駅乗車⇒(乗車時間約 10 分)⇒モノレール「競馬場前(北九州市立大学前)」駅下車⇒(徒歩約３分)⇒北九州市立大学北方キャンパス

※試験前日は、授業を行っているため、下見はできません。

Ｄ 試験後

１　合格発表

⑴　合格発表日時　　2027 年２月15日（月）10時頃

⑵　合格発表方法

①　ホームページ　合格発表日の10時頃、本学ホームページに合格者受験番号を掲載します。
ホームページアドレス　https://www.kitakyu-u.ac.jp/entrance-exam/

②　合格通知　合格者には、発表日当日に「合格通知書」を簡易書留で発送します。未着の場合、郵便局の不在票を確認してください。

※ 合否に関することや、受験番号の問い合わせには一切応じません。

※ 学内掲示は行いません。

２　入学手続

⑴　入学手続期間　　2027年３月９日(火)～３月15日(月) 17：00必着
（※海外在住者　　2027年２月17日(水)～２月26日(金) 17：00必着）

※在留資格「留学」の「在留資格認定証明書（Certificate of Eligibility）」交付が必要な方は、2027年２月26日(金)までに入学手続を完了してください。

⑵　入学手続に関する詳細については、「合格通知書」送付の際にお知らせします。主な必要書類は、住所カード、授業料口座振替依頼書、学生証用写真（縦４㎝×横３㎝、カラー、２枚）等です。

⑶　入学手続には、本学の受験票と日本留学試験の受験票の両方が必要です。大切に保管しておいてください。

⑷　入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、入学辞退として取り扱います。理由のいかんを問わず、入学手続期間の延長は行いません。

⑸　期間内に、入学金の納入、必要書類の提出を完了した者に入学を許可します。

⑹　一旦納入した入学金は、いかなる理由があっても返還しません。

⑺　在留資格が「留学」でない場合は、留学生に対する各種奨学金等の対象にならないことがあります。「留学」へ変更を希望する場合、所定の手続により在留資格を変更することも可能です。

3　入学金等納入金一覧（現行の金額です。変更となる場合があります。）

⑴　入学金　　（単位：円）

区分＼学部		外国語学部	経済学部	文学部	法学部
入学金	北九州市内居住者	282,000	282,000	282,000	282,000
	上記以外の者	423,000	423,000	423,000	423,000

⑵　保険料及び諸会費　　（単位：円）

区分＼学部			外国語学部	経済学部	文学部	法学部
保険料	学生教育研究災害傷害保険（学研災）		3,300	3,300	3,300	3,300
	学研災付帯賠償責任保険（学研賠）		1,360	1,360	1,360	1,360
諸会費	後援会費		50,000	50,000	50,000	50,000
	同窓会費	入会金	30,000	30,000	30,000	30,000
		会費	20,000	20,000	20,000	20,000
	学会費		10,000	10,000	−	10,000
	学友会費		26,600	26,600	26,600	26,600
合計			141,260	141,260	131,260	141,260

備考１　北九州市内居住者とは、入学する本人又はその配偶者若しくは２親等内の親族が、入学の前年度において北九州市の市民税納税義務者（又は市民税非課税者）であり、かつ入学金納入のときまで引き続き北九州市内に住所を有する者をいい、それを証明する書類（市民税納税証明書、納税義務者の住民票、入学者と納税義務者の続柄がわかる書類など）が必要となります。なお、「入学の前年度において北九州市の市民税納税義務者（又は市民税非課税者）」であるためには、2026年１月１日現在北九州市に在住していることが必要です。

２　保険料及び諸会費の金額はいずれも一括納入額です。保険料、学会費、学友会費は４ヵ年分。後援会費は在籍期間中における会費、同窓会費は終身会費です。

諸会費については、入学の必須条件ではありません。

３　本学では、学生の教育研究活動中の事故によるケガ等に備えて、全学生に「学生教育研究災害傷害保険（学研災）」及び「学研災付帯賠償責任保険（学研賠）」に加入をしていただき、万が一の場合に、学生の負担軽減を図ることとしています。この保険は、教育実習やインターンシップに参加する際に必要な保険となっています。

※【参考】学研災付帯賠償責任保険（学研賠）：正課（特に、実験・実習等）、学校行事、課外活動及びその往復中の賠償責任事故が対象。

4　年間授業料（現行の金額・納入方法です。変更となる場合があります。）

学部	年間授業料	納入回数		納入方法
		（第１期）	（第２期）	
全学部	535,800円	267,900円	267,900円	口座振替による、年間２期の分割納入です。 入学手続時に口座振替依頼書を提出していただきます。

※在学中に授業料の改定及び納入方法等の改定が行われた場合、改定時から適用されることとなります。

E 入試における感染防止対策について

「2027年度外国人留学生特別選抜」（2026年度に実施する試験）における感染防止対策については、本学ホームページ（https://www.kitakyu-u.ac.jp/entrance-exam/）をご覧ください。

連絡先
北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係　TEL 093-964-4022

F その他

1　教育目的

外国語学部：外国語の高度な運用能力を持ち、専攻する地域の文化・社会・歴史・政治経済と国際関係に関する専門的知識を有し、国際社会で活躍できるグローバルな人材の養成

英　米　学　科	中　国　学　科	国際関係学科
高度な英語運用能力と、英米および英語圏の文化・社会の諸問題についての専門的知識を兼ね備えた、国際社会で活躍できる人材の養成	高度かつ実践的な中国語運用能力と、中国及び中国語圏の言語・文学・文化・歴史・経済などに関する専門的知識を兼ね備えた、国際社会で活躍できる人材の養成	国際関係と地域研究の発展的な知識と、英語を中心に優れた語学力を兼ね備え、グローバルな視野に立って活躍できる国際人の養成

経 済 学 部：幅広い教養と経済・経営情報に関する基礎及び応用分野の知識を持ち、社会や経済・経営の諸問題を論理的に分析し解決する能力を兼ね備えた人材の養成

経　済　学　科	経　営　情　報　学　科
豊かな教養と経済学の基礎及び応用分野に関する知識を兼ね備え、理論と実践を統合することにより、社会や経済の諸問題を解決できる人材の養成	幅広い教養を身につけ、経営学を理解し、情報科学や会計学の手法も駆使することで、さまざまな企業経営や社会に関する諸問題を解決できる人材の養成

文　学　部：自文化の発信と異文化への理解を深める能力を持つ世界的な視野に立った人材、または、真の意味での人間の健康的な生活のあり方を探求する人材の養成

比　較　文　化　学　科	人　間　関　係　学　科
日本文化と欧米文化をはじめとする異文化への深い認識を持ち、自文化の発信と異文化への理解を深める能力を持つ世界的な視野に立った人材の養成	人間の存在、行動、発達を社会環境や自然環境などとの関連において学際的、総合的に把握し、真の意味での人間の健康的な生活のあり方を探求する人材の養成

法　学　部：社会における様々な問題を発見・分析する能力を備え、法的思考力や政策立案・評価能力を駆使することにより、弾力的で総合的な判断に基づいて問題を解決し、社会の発展に貢献することができる人材の養成

法　律　学　科	政　策　科　学　科
法理論の深い理解、広い知識及び総合的判断力を持ち、法現象に対して弾力的に対処し得る法的思考力・処理能力を備えた人材の養成	地域社会、国際社会などにおける様々な問題を発見し分析する能力、解決策を立案する能力、さらに評価能力を有した人材の養成

2　アドミッション・ポリシー

外国語学部英米学科

（求める学生像）

○世界の文化や情勢、社会、経済に高い関心を持ち、世界的な視野を持って意欲的に学び、自ら情報発信にも積極的な人
○英語による高度なコミュニケーション能力の獲得を目指し、積極的に努力する人
○国際社会での活動に熱心に取り組み、言語・文化・ビジネスの領域を中心にキャリア形成を図ろうとする意欲を有した人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目）※特に評価する項目に「○」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・英語および英語圏の文化・社会・ビジネス分野について学ぶために必要な幅広い基礎学力を身につけている。	・英語圏を中心に世界の文化・社会について英語で自分の考えを述べるために必要となる思考力・判断力・表現力を身につけている。	・異文化圏の人々と積極的に交流・協働し、相互理解を深め新しい価値の創造を目指す姿勢を持っている。
外国人留学生特別選抜	日本留学試験		○		
	個別テスト等	日本語小論文		○	
		面接（TOEFL又はTOEIC）	○		

外国語学部中国学科

（求める学生像）

○英語以外の新しい言語を学ぶ意欲を持ち、その修得に挑戦しようとする人
○多様な文化をもつ中国・アジア社会に関心を持ち、グローバル社会の多様性や複雑性をより深く理解したい人
○修得した中国語や身につけた知識を活かして、アジア圏を中心に国際社会で活躍したい人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目）※特に評価する項目に「○」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・入学後の修学に必要な幅広い基礎的な知識・技能を備えている。 ・英語に関して、基礎的な読解力、表現力を備えている。 ・外国語を修得する素養を備えている。	・文章を読んで、その内容について、論理的に、思考・判断し、自分の考えを分かりやすく表現する力を備えている。 ・問いや質問の内容を理解・判断し、自分の考えを分かりやすく明確に表現する力を備えている。	・積極的に他者とコミュニケーションを取り、他者の考えを理解しようとする姿勢を持っている。 ・ともに学び合うことで自分自身を向上させようとする姿勢を持っている。
外国人留学生特別選抜	日本留学試験		○		
	個別テスト等	面接（TOEFL又はTOEIC）		○	○

外国語学部国際関係学科

（求める学生像）

○国際関係の分野に高い関心を持ち、国際社会の諸相を多角的に深く理解したい人
○英語および中国語・朝鮮語などを用いてグローバル化した社会での活躍を目指す人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目）※特に評価する項目に「○」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・英語などの外国語における基礎的な読解力、表現力および実践的運用能力を備えている。 ・国際関係に関する文章を理解し得る基礎的な読解力および知識を備えている。	・国際関係を学ぶ上で必要な論理的な思考力・判断力を備えている。 ・自分の考えを他者に明確に伝える表現力を備えている。	・国際関係に対する問題関心や学習意欲を持っている。 ・文化的多様性に配慮しながら他者と円滑にコミュニケーションを図り、協力して目標を達成する意欲を持っている。
外国人留学生特別選抜	日本留学試験		○		
	個別テスト等	面接 TOEFL又はTOEIC		○	○

経済学部

（求める学生像）

○「社会のメカニズム」に関心を持ち、その仕組みを理解したい人

○大学で専門分野として学んだ経済・経営に関する知識や分析手法を仕事に活かし、社会に貢献したい人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目）※特に評価する項目に「○」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・経済・経営分野を学ぶために必要な幅広い基礎学力を備えている。 ・文章を読み解き、考えをまとめるために必要な日本語と外国語の語学力を身につけている。 ・経済・経営に関する仕組みや歴史を理解するために必要な知識と数理的素養を持っている。	・社会問題を明敏に思考・判断し、解決するために必要な論理展開力を身につけている。 ・文章を読み、その内容と自らの考えを分かりやすく的確に伝えることができる日本語と外国語の表現力を備えている。	・様々な活動において他者と協働し、コミュニケーションを取りながら、主体的に行動する意欲および姿勢を持っている。 ・自分のキャリアビジョンが明確で、資格取得など、その実現に向けて努力する姿勢を持っている。
外国人留学生特別選抜	日本留学試験		○		
	個別テスト等	小論文		○	
		面接			○

文学部比較文化学科

（求める学生像）

○継続的かつ自主的に学ぶ姿勢を身につけており、多様な文化への好奇心が旺盛な人

○異なる文化的背景を持つ人とのコミュニケーションに積極的な人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目）※特に評価する項目に「○」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・多様な文化を学際的、総合的に研究するのに必要な基礎的な学力を持っている。	・文化に関する諸問題について、他者の考えを理解した上で自分の意見を論理的かつ的確に表現する力を持っている。	・多様な価値観や異なる文化的背景を尊重しつつ、他者と協働関係を築き、問題解決に臨む態度が身についている。
外国人留学生特別選抜	日本留学試験		○		
	個別テスト等	集団討論		○	
		面接（TOEFL又はTOEIC）	○		○

文学部人間関係学科

（求める学生像）

○十分な基礎学力と継続的に学修に臨む姿勢を身につけており、人間関係を取り巻く事柄に対して高い問題意識を持っている人

○真の意味での人間の健康的な生活のあり方を探求することに強い関心を持った人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目）※特に評価する項目に「○」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・人間と社会や自然との関係について学際的、総合的に探究する学修を始めるに当たって、必要な基礎的な学力を持っている。	・人間関係の諸課題について他者の考えを参照しつつ、思考して自分の意見を構築し、それを的確に表現する力を持っている。	・多様な意見を尊重しつつ、包括的なコミュニケーションを通して協働的に物事を解決する態度を持っている。
外国人留学生特別選抜	日本留学試験		○		
	個別テスト等	集団面接による口頭試問		○	

法学部法律学科

（求める学生像）

○日常生活における法的諸問題に高い関心を持ち、それらに対応できる知識や技能を修得したい人
○広い視野を持って、物事を多面的かつ論理的に考察することができる人
○大学で学んだ知識や技能を社会生活における様々な場面で活かそうという意欲のある人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目）※特に評価する項目に「○」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・法律学を学ぶ上で必要な幅広い基礎的な学力を備えている。 ・文章を読み解き、考えをまとめる日本語と外国語の語学力を身につけている。	・社会における諸問題に対して自分の頭で論理的に思考・判断することができる。 ・文章を読み、その内容を的確に伝えたり、自分の考えを分かりやすく表現することができる。	・多様な人々とコミュニケーションを取りながら、主体的に行動する姿勢を身につけている。 ・他者の異なった考えに謙虚に向き合い、社会における諸問題に対応しようとする意欲を持っている。
外国人留学生特別選抜	日本留学試験		○		
	個別テスト等	日本語小論文		○	
		面接			○

法学部政策科学科

（求める学生像）

○国や地域、国際社会の抱える様々な問題に関心を持ち、政治・政策を分析する能力を修得する意欲にあふれる人
○広い視野を持って、物事を多面的かつ論理的に考察することができる人
○大学で得た知識や能力を様々な場面で活かし、広く市民社会・国際社会に貢献したい人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目）※特に評価する項目に「○」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・政策科学を学ぶために必要な幅広い基礎的な学力を持っている。 ・文章を読み解き、考えをまとめる日本語と外国語の語学力を身につけている。	・国や地域における様々な問題に対して、論理的に思考・判断し、解決するために必要な能力を持っている。 ・文章を読み、その内容を的確に伝えたり、自分の考えを分かりやすく表現することができる。	・多様な人々とコミュニケーションを取りながら、主体的に行動する姿勢を身につけている。 ・他者の異なった考えに謙虚に向き合い、社会における諸問題に対応しようとする意欲を持っている。
外国人留学生特別選抜	日本留学試験		○		
	個別テスト等	日本語小論文		○	
		面接			○

3　ディプロマ・ポリシー

基盤教育における学位授与方針

豊かな「知識」	・地域社会の課題や政策について、地域の文化・歴史、経済・産業等の魅力をふまえながら理解する力を身につけている。 ・生命や自然、環境問題の基礎を理解し、持続可能な環境共生社会の実現に向けて貢献する意識をもっている。 ・国際社会の諸問題を理解し、世界的な視野をもって行動できる力を身につけている。
知識を活用できる「技能」	・英語などの基礎的運用能力、情報リテラシー、資料等を読み解く技能を身につけている。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」	・多様なものの見方、考え方、価値観などを理解し、思考・判断することができる。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」	・個人の異なる生き方や価値観を理解し、社会と調和し、組織や社会の活動を促進することができる。
社会で生きる「自律的行動力」	・他者との関わりの中で自己を律し、自己のキャリア形成に向けて継続して学び、公共性、倫理性を持って行動できる。

専門教育における学位授与方針

外国語学部

観点＼学科	英米学科	中国学科	国際関係学科
豊かな「知識」	・世界の文化的・社会的事象に関わる幅広い知識を基盤に、コアとなる「英語学・英語教育」「国際文化社会」「グローバルビジネス」のいずれかの専門分野に関する知識を体系的・総合的に身につけている。	・専門分野である中国語に関し、その運用に必要な知識、中国語圏の文学・文化・歴史・社会に関する知識を体系的に身につけている。	・国際政治経済やアジア太平洋地域の政治外交に関する社会科学の基礎知識を修得し、それをもとに個々の地域が持つ特性を理解している。
知識を活用できる「技能」	・英語の4技能（読む・聞く・話す・書く）の修得に加え、英米及び英語圏を中心に世界の文化・社会的な背景の理解のもと、国際社会で活躍するために必要な高度な英語を適切に運用できる能力を身につけている。	・中国語の4技能（読む・聞く・話す・書く）をバランス良く修得し、中国語圏の文化的背景への理解のもとで、中国語を適切に運用できる。	・国際関係論と地域研究の学修に関して、社会科学の立場から、必要な情報を収集・調査・分析することができるとともに、英語をはじめ、東アジアで活躍するための中国語または朝鮮語の基礎語学力を身につけている。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」	・流動的に変化している国際情勢や世界の文化・社会の諸問題に関する学修を通して、グローバルな視点から事象を多面的に捉え、学際的・複眼的に思考して解決策を探求し、多様な人種や文化を背景に持つ社会の中で、自分の意見を英語で明晰に表現することができる。	・変化が著しい中国語圏をはじめとする諸地域の文化や社会情勢に関する学修を通して、様々な事象に対し総合的、論理的に思考することができ、自分の考えや判断を表現することができる。	・国際情勢に関する学修を通して、様々な事象に対し総合的、論理的な思考・判断により、解決策を提案できる応用力を持つとともに、専門的見地から自分の考えや判断を表現することができる。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」	・広く国際的な視野を身につけるための学修を通して、多種多様な国籍の文化や言語を背景に持つ他者と協働して効果的に活動できるコミュニケーション力を有している。	・多様な民族や文化を包摂する中国語圏に関する学修を通して、多様な文化や言語を背景に持つ他者と協働して活動できるコミュニケーション力を有している。	・国際的な観点から行う地域の特性に関する学修を通して、多様な文化や言語を背景に持つ他者と協働して活動できるコミュニケーション力を有している。
社会で生きる「自律的行動力」	・英語や異文化に関する学修を通して、文化・社会への関心とキャリア意識を持ち続け、広い視野を持つ国際人として、主体的に行動できる。	・中国語の運用能力や中国語圏の文化・社会に関する学修を通して、文化・社会への関心を持ち続け、より良き未来に向けて行動できる。	・国際社会に関する学修を通して、国際関係と地域研究への関心を持ち続け、グローバル社会の一員として貢献できる姿勢を身につけている。

経済学部

観点＼学科	経済学科	経営情報学科
豊かな「知識」	・専門分野である経済学の基礎知識を修得し、それを基にした応用知識を体系的・総合的に身につけている。	・専門分野である「経営学」、「会計学」、「情報科学」の基礎知識および応用知識を体系的に身につけ、企業をはじめとする様々な組織の経営活動について理解している。
知識を活用できる「技能」	・経済学の専門知識を活かして、問題解決に向けて、必要とされる情報を自ら収集するとともに、「経済モデル」の展開と「データ」の分析を行うスキルを身につけている。	・「経営学」、「会計学」、「情報科学」の学修を通じて、経営に関わる諸問題の解決に必要とされる「企業」、「財務・会計」、「情報システム」の分析を行うスキルを身につけている。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」	・経済学の知識と分析スキルにより、社会・経済の動向を論理的に考察し、専門的見地から自身の考えや判断を表現することができる。	・「経営学」、「会計学」、「情報科学」の知識と分析スキルにより、様々な組織を取り巻く経営環境の変化や社会の動向を論理的に考察し、専門的見地から自身の考えや判断を表現することができる。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」	・経済学の学修を通じて、組織やチームのメンバーと積極的な議論をしながら、協働して経済や社会の諸問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている。	・様々な組織の経営に関する学修を通じて、組織やチームのメンバーと積極的な議論をしながら、協働して組織経営の諸問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている。
社会で生きる「自律的行動力」	・経済学の応用分野や地域経済に関する学修を通して、社会・経済への関心を持ち続け、社会の発展に向けて取り組む意欲を有している。	・「経営学」、「会計学」、「情報科学」の学修を通して、様々な組織の経営活動に関心を持ち続け、社会の発展に向けて取り組む意欲を有している。

文学部

観点＼学科	比較文化学科	人間関係学科
豊かな「知識」	・文化資源の保存・活用及び多様な文化の交流・共生について幅広い知識を身につけているとともに、文学、思想、言語、歴史、美術、宗教、生活文化、メディアなどの自らの専門分野について体系的に理解している。	・人間関係及び人間と社会や自然との関係を解明するための基礎的な知識や概念、法則を体系的に身につけ、学修によって得られた知識と現実の人間関係にかかわる課題とのつながりを理解している。
知識を活用できる「技能」	・英語もしくはそれ以外の諸言語を用いて基本的なコミュニケーションができるとともに、専門書など必要な文献を読みこなすことができ、自らの専門分野についての研究方法を身につけている。	・人間関係の諸原理の解明に関し、必要な調査や実験を実施するための基礎的な方法論をはじめ、資料やデータを分析して結論を導くための技能を身につけている。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」	・文化資源・文化共生の課題について、論理的に思考し判断する力と、自文化を論理的かつ的確に発信する力を身につけている。	・人間関係の諸原理を解明する学修を通して、様々な事象に対し総合的、論理的に考察し、専門的な見地から自らの考えや判断を表現することができる。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」	・文化資源・文化共生の学修を通して、地域社会におけるつながりを創り出す力と、他者と協働し、組織や社会の活動を促進する力を身につけている。	・人間関係の諸課題に関する学術的研究を通して、多様な考えを持つ他者と包括的な議論を行いながら、協働して活動できる力を有している。
社会で生きる「自律的行動力」	・文化資源・文化共生への理解を通して、地域・国際社会における文化の振興と交流に貢献する姿勢を身につけている。	・人間関係の諸課題について問題意識を持ち続け、学修成果である人間関係及び人間と社会や自然との関係を理解し、実践につなげる姿勢を身につけている。

法学部

観点＼学科	法律学科	政策科学科
豊かな「知識」	・社会において生起する様々な法的問題を読み解くための法学に関する知識を体系的に身につけている。	・21世紀の市民として、「政治・民主主義」の基礎知識及びまちづくり、環境政策、社会政策、都市政策などの公共政策分野の課題解決に必要な専門的知識を体系的・包括的に身につけている。
知識を活用できる「技能」	・法的な問題点を抽出し、その解決に必要となる情報を自ら収集・分析・整理するとともに、法令を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている。	・政策科学の学修を通じて、政策の立案に向けて必要なデータを読み解くとともに、フィールドワークや統計処理などの手法により調査・分析を行うことができる。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」	・法学に関する様々な課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行い、そのプロセスや結論を口頭や文章で論理的に表現することができる。	・社会が抱える問題への政策を考察する学修を通じて、個別・具体的な課題を発見し、社会科学の観点からの論理的な分析をもとに、様々な観点から物事を捉えた独自の政策を立案し、その効果を評価できる力を身につけている。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」	・法学の学修を通じて、異なる意見を持つ他者との議論を行いながら、協働して法的問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている。	・公共政策課題の解決に向けた政策に関する学修を通じて、幅広い分野と交流して異なる意見をもつ他者と議論を行いながら、建設的・効果的にコミュニケーションを取って協働することができる。
社会で生きる「自律的行動力」	・法学の学修を通じて、社会において生起する様々な法的問題に関心を持ち続け、より良い社会の実現に向けて行動する姿勢を身につけている。	・公共政策に関する学修を通じて、社会が抱える問題を政策的に考える意欲を持ち続け、より良い市民社会の実現に向けて行動できる姿勢を持っている。

4　入試情報の成績開示について

北九州市立大学では、以下の要領で入学試験個人情報の開示を行います。

⑴　開示する入試個人情報の範囲

開示する2027年度の入試情報の範囲は次のとおりです。

①　試験結果　個別テスト等の科目別得点及び合計点

②　総得点

③　出願書類

⑵　開示請求の方法

以下の書類を揃えて受付窓口に申請してください。ただし、請求ができるのは受験生本人のみです。

①　窓口で請求する場合

・北九州市立大学入学試験個人情報開示請求書

・返信用封筒（長形３号）　切手460円分を貼り、送付先の住所、宛名を記入したもの。

・本人を証明するもの　本人を確認できる写真入りの証明書(原本)又は本学受験票(原本)を持参してください。
（証明書の例：在留カード、運転免許証、学生証等）

②　郵便で請求する場合

・北九州市立大学入学試験個人情報開示請求書

・返信用封筒（長形３号）　切手460円分を貼り、送付先の住所、宛名を記入したもの。

・本学受験票（Ａ４用紙にコピー）

・本人を証明するもの　本人を確認できる写真入りの証明書（Ａ４用紙にコピー）
（証明書の例：在留カード、運転免許証、学生証等）
＊ただし、写真が鮮明なものに限る

※　添付書類に不備がある場合は、受理できません。

⑶　入試情報の開示（通知）方法

①　試験結果の開示の場合

・請求後、返信用封筒に成績通知書を入れて、簡易書留で送付します。（１ヶ月程度必要です。）

②　出願書類の開示の場合

・受付窓口での閲覧のみとなります。（コピー不可）

・申請受付後に本人宛に送付する成績通知書を受付窓口に持参してください。

・閲覧の際は、成績通知書の他に本人を証明するものを持参してください。
（証明書の例：在留カード、運転免許証、学生証等）

⑷　開示請求書（様式）について

北九州市立大学入学試験個人情報開示請求書は、2027年４月に本学ホームページで掲載します。

⑸　開示請求の受付期間等

受付期間　2027年５月６日(木)～５月31日(月)（土、日、祝日除く）

閲覧期間　2027年６月１日(火)～６月30日(水)（土、日、祝日除く）

受付・閲覧時間　平日　９：00～16：00（12：15～13：15を除く）

〈受付窓口・お問い合わせ先〉

〒802-8577　北九州市小倉南区北方四丁目２番１号

北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係　TEL 093-964-4022

５　個人情報の取扱いについて

北九州市立大学は出願に関して本学に提供された個人情報について、公立大学法人北九州市立大学個人情報保護管理規程に基づき、適切に取り扱います。

【個人情報の利用目的について】

本学が取得した個人情報については、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

⑴志願者の氏名、生年月日、連絡先、成績などの個人情報は、入学者選抜、合格発表、入学手続、調査研究及びこれらに付随する業務の遂行に利用します。

⑵合格者の個人情報は、入学手続者に対する入学前指導、入学後の教務関係、学生支援関係、授業料徴収関係などに関する業務のために利用します。

【個人データの取扱いの委託について】

本学は、利用目的の範囲内で、個人情報の取扱い業務の一部又は全部を外部に委託することがあります。この場合、個人情報を適切に取り扱っていると認められる委託先を選定し、契約等において個人情報の適正管理・機密保持等により個人情報の漏洩防止に必要な事項を取り決め、適切な管理を実施させます。

６　個人用ノートパソコンの必携について

本学では、授業、履修登録、レポートの作成・提出、教員や大学からの連絡等でパソコンを活用しています。また、個人パソコンを使っての授業も予定されていますので、本学に入学の際は個人用ノートパソコンをご準備（必携）いただきますよう、あらかじめご案内いたします。

なお、ノートパソコンに必要な機能や推奨スペックなど詳細につきましては、今後、本学ホームページ等でご案内いたします。

＜お問い合わせ先＞

北九州市立大学 学術振興課教務第一係　TEL：093-964-4036

様式１

※

※印欄は記入しない

2027年度 外国人留学生特別選抜 履歴書

志望	学部　　学科

フリガナ	
氏　名	

		出身の学校名	所在地（国・都市名）	修学した期間	年数	学位有無・取得年月	
学歴	小学校			年　月～　年　月			
	中学校			年　月～　年　月			
	高等学校			年　月～　年　月			
	大　学			年　月～　年　月		有・無	年　月
	大学院			年　月～　年　月		有・無	年　月

	主な勤務先の名称	所在地（国・都市名）	職種	勤務した期間
職歴				年　月～　年　月
				年　月～　年　月

	最近の滞在期間	滞在地（都道府県名及び都市名）	滞在目的
日本滞在歴	年　月～　年　月		
	年　月～　年　月		

	日本語を学習した機関名	所在地（国・都市名）	日本語の学習期間	月数	日本語修得のレベル
日本語の学習歴			年　月～　年　月		上級　中級　初級
			年　月～　年　月		上級　中級　初級
			年　月～　年　月		上級　中級　初級

	外国語（自国語と日本語を除く）	読む能力のレベル	書く能力のレベル	聞く能力のレベル	話す能力のレベル
外国語能力	語	上級　中級　初級	上級　中級　初級	上級　中級　初級	上級　中級　初級
	語	上級　中級　初級	上級　中級　初級	上級　中級　初級	上級　中級　初級

在留資格	本学への留学に係る在留資格認定証明書（Certificate of Eligibility）の交付希望	有 □　　無 □

※　記入は、黒のボールペンを使用してください。（鉛筆不可）

※　日本語、外国語のレベルは、上級、中級、初級のいずれか最も妥当なものを〇で囲んでください。

※　在留資格認定証明書の交付希望については、日本の在留資格を有しておらず、本学の入学試験合格後、在外公館（海外にある日本大使館・領事館）において在留資格「留学」の申請が必要な場合は「有」にチェックをしてください。

様式２

※

※印欄は記入しない

2027年度 外国人留学生特別選抜 入学希望理由書

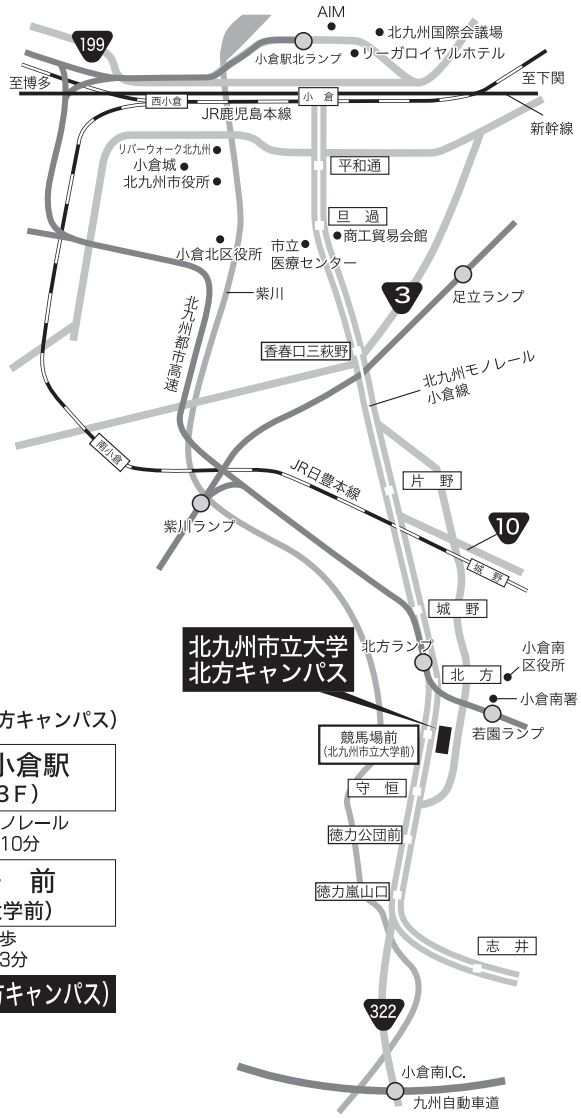
志望学部・学科 ＿＿＿＿＿＿学部 ＿＿＿＿＿＿学科

フリガナ

氏　　名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

北九州市立大学を志望した理由及び北九州市立大学で何をどう学びたいかを、志望する学部･学科と関連させて、自筆（日本語）で記入してください。(横書きで記入。鉛筆不可)

試験会場



●北九州市立大学（北方キャンパス）

モノレール小倉駅
（小倉駅ビル３Ｆ）

↓ モノレール 約10分

競　馬　場　前
（北九州市立大学前）

↓ 徒歩 約3分

北九州市立大学（北方キャンパス）

＜お問い合わせ先＞

北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係

〒802-8577　北九州市小倉南区北方四丁目2番1号
TEL 093-964-4022
E-Mail nyushi2@kitakyu-u.ac.jp
〔大学ホームページ　https://www.kitakyu-u.ac.jp/ 〕

※受験票は1月18日(月)から印刷可能です。インターネット出願サイトの「申込確認」画面から印刷し、試験日当日に持参してください。



北九州市立大学 公式マスコットキャラクター
きたきゅっち